

児童発達支援事業所における自己評価結果 (公表)

令和 2 年 2 月 4 日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	法令に基づいた十分な療育スペースが確保されています。	スペースは適切ですが、遊戯室で色々なイベントをもっと行えるように考えています。
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	定められている配置基準以上の職員の人数を有資格者で十分満たしています。	より良い療育などの充実のために職員数も増やすなども検討中です。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	生活空間は、分かりやすい構造になっています。利用児童の特性や課題に応じた環境作りを配慮しています。	年齢幅も小さい児童から年長児童まで全員が理解できるような工夫を目標にしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	清潔な環境を維持する為に、日頃から整理整頓や掃除をこまめに行い、壁面も季節ごとに利用児童の作品を飾るなど、常に温かい雰囲気になるように心掛けています。	衛生面では、毎日の掃除以外にも気づいた時にすぐ清掃を行うよう心がけ、また利用児童たちや保護者様にも心地よく感じてもらえるような空間作りを続けていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	職員同士での情報を共有、及び周知するために、定期的なミーティングや、リフレクション会議に全員で参加し、PDCA サイクルの検討と情報共有に努めています。	今後もより多くの意見を集め、検討し、業務改善を進める為にしつかりと時間を作り、全員参加で話し合っていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	評価でのご意見は元より、常日頃から保護者様のご意見やご要望を元に検討し、改善につなげています。	今後も頂いたご意見やご意向については職員全員で検討、業務改善に努力し、全ての保護者様に「はい」と答えて頂ける事業所を目指して参ります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	今年度からアンケートを実施し、集計しています。自己評価表はホームページに掲載しています。	保護者様全員からご意見を頂き、そのご意見を真摯に受け止め、より良い事業所を目指して参ります。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	本年度は、第三者による外部評価を実施出来ておりません。	第三者による外部評価は、体制整備を事業所内で話し合い、早く実施出来るように検討して参ります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	本社での研修、並びに事業所でも時間を設け、研修や勉強会を行っております。	今後は昨年度より回数を増やし、研修を続け、職員の資質の向上と研鑽を行って参ります。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	アセスメントを行い、適切な支援計画を立案・作成しています。常により良い支援が行えるように客観的な分析にも努めています。	児童発達支援計画に関しては、今後も保護者様のご意向をうかがった上で、児童の課題の発見、その改善を目指し、成長を促すものとして丁寧に作成して参ります。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	標準化されたアセスメントツールを活用しています。	より良い療育のために、客観的な視点を大事にし、今後も標準化されたアセスメントツールを活用して参ります。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援 (本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	児童発達支援ガイドラインに沿った支援内容が設定されています。	今後も更に利用児童の成長につながるよう支援内容に配慮して参ります。また、保護者様にもイメージして頂きやすいように具体的な内容を記載して行きたいと思います。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	支援計画を職員がしっかりと熟知し、計画に沿った支援を行っています。	今後も継続して支援計画に沿った取り組みを進めて参ります。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	支援内容は、毎週チームで話し合い、活動プログラムの立案を行っています。	今後も継続してチームでの立案を続けて参ります。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	利用児童の状況に合わせて、固定化しないよう、教材などにも工夫を凝らして取り組んでいます。	今後も児発管と保育士が中心となったチームで、多様な支援方法や教材などの活用を工夫して参ります。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	利用児童の状況に合わせて、個別指導と集団活動の組み合わせで支援計画を作成しています。	今後も同様に個別と集団の活動を組み合わせた支援計画の立案を行って参ります。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	毎朝、就業開始時にはミーティングを行って意見を出し合い、支援内容や、役割分担・担当を確認しています。	支援開始前のミーティングは、今後も継続して行って参ります。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	支援終了後、現場にいる職員間では打合せを行い、送迎などでいない職員についてはミーティングノートを活用して共通認識を図っています。	今後も継続して支援終了後の打合せを行って参ります。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	療育プラン用紙を使い、毎日その日の療育内容を記録しています。日々の記録は、ケース会議などの討議に役立てております。	今後も継続して記録を取ることを徹底して参ります。
20 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	最低でも半年以内を目安に、定期的にモニタリングを行い、利用児童の成長や、発達に応じた計画の見直し、活動が画一的にならないような修正を行っています。	今後も定期的なモニタリングと計画の見直しを継続して参ります。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	施設の中で利用児童に対して最も把握している児発管が参加しています。	今後も継続して児発管が参画して参ります。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	児童を取り巻く様々な社会資源との繋がりを目指していますが、現時点では、一部機関との連携は行えていません。	まだ全ての機関との連携は不十分だと思われまので、今後更に強化していく予定です。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	現在、該当する重症心身障がい児の利用はありませんが、該当児童が利用することとなった場合、関係各所と連携支援を行える体制は整えています。	該当児童のご利用が決まった時点で、すぐに対応できるよう、準備を整えて参ります。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	現在該当する重症心身障がい児の利用はありませんが、利用することとなった場合、児童の主治医や事業所の協力医と連携支援を行える準備はできています。	協力医療機関が目前にあり、連絡体制は整っています。該当児童のご利用が決まった時点で、主治医とも連絡を取り、対応できるように準備を整えて参ります。
	25 移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校 (幼稚園部) 等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	出来る限り繋がれる機会を通し、相互理解を図っています。具体的には担当者会議での意見交換や、電話、送迎時の機会に相談や面談での共通理解に努めています。	これからも児童を取り巻く全ての環境にある関係機関との相互理解を目標に細かい情報共有を図って参ります。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校 (小学部) との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	就学する際に、担当者会議等を行い、事業所内での様子をお伝えし、情報共有に努めています。	移行支援の情報共有に伴う個人情報に関しては保護者様の同意も頂き、その上で何度でも情報共有と相互理解に努めて参ります。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	専門機関との連携や助言を頂く・研修の受講については、率先して参加し、情報交換や共有もしていますが、まだ不十分と感じています。	今後、企画されたものへの参加のみならず、交流や勉強会を自ら模索し、企画を行い、それらを通して更に連携を図っていきたくと思っています。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	現時点では障がいのない子どもたちとの積極的な交流を持つ機会を持っていませんでした。	今年度は、保護者様のご意向も視野に入れ、地域の子供たちとふれあい交流の機会について考察・検討・企画していきたいと考えています。
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	職員が定期的に参加しています。	参加していく職員数を増やしていくと検討・考察しています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	日々の送迎時、電話連絡、連絡帳、また面談を行うなど、あらゆる機会を逃さず情報交換を行っています。	今後もあらゆる機会に保護者様との情報共有を行い、保護者様に頂いた情報は職員間で伝え合い、共通理解を図っていきます。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム (ペアレント・トレーニング等) の支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	保護者様からのご質問も多く、十分に内容を把握して、ご家庭訪問時や事業所での相談なども承っており、色々な視点からアドバイスを行い、少しでもお悩みが解決できるよう支援を行っています。	今後ご相談には丁寧に対応させて頂きながら、ご要望があれば、ペアレント・トレーニングの勉強会なども企画していきたいと考えております。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ご契約の際に読み合わせを行い、丁寧に説明を行っています。	保護者様全員に十分に理解して頂けるよう、これからも心掛けて参ります。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「ねらい及び支援内容」について、また、「支援計画」については丁寧に説明させて頂き、同意を頂いています。	今後もより分かりやすい説明を心がけ、ご理解とご賛同を頂けることを目標に配慮し、対応して参ります。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ご相談は早速にご相談とは別、センターからも助言や支援のご提案をしています。	保護者様からも相談しやすいよう、ご家庭への訪問を行ったり、センターでも時間を作り、ご相談を受けたり、助言を行うよう今後も心がけて参ります。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	児童の通う保育・幼稚園の父母の会には、職員が定期的に参加してはいますが、本年度はセンター主催の保護者会は行えていません。	今後は、事例や情報を共有できるように、保護者会の組織構築や会の開催を企画・検討して参ります。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れに対して、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	申し入れは丁寧にお聞きし、適切に対応させて頂いており、重大なクレームは未だ頂いておりませんが、苦情受付の窓口も選定しており、迅速に対応させて頂く準備は整えております。	今後も相談や申し入れについての対応は引き続き丁寧かつ迅速に対応して参ります。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	現在は年 4 回季刊発行の「おたより」や Web サイトでのブログでも活動をご紹介します。センターでは、連絡帳のカレンダーを通じ、行事予定発信を行っています。	引き続きブログや季節の「おたより」を継続し、今後は、センター発信の情報をお伝えすべく、会報の充実について企画・検討中です。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	個人情報は情報漏洩・取り扱いに細心の注意を払っています。また個人情報情報は、鍵付きの書庫で保管しています。	引き続き使用・保管には、最新の注意を払って参ります。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	利用児童や保護者様の特性や状況に合わせて、十分に配慮した情報伝達手段で意思の疎通を行っています。	今後も同様に継続して参ります。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	本年度は積極的に企画するまでに至りませんでした。町の夏祭りには山車が立ち寄ってくれて、利用児童たちも大喜びでした。	今後は、地域と触れ合い大切さを考慮し、地域とのふれあい交流を通じ、密接な関係を築いていきたいと思ひ、運営を企画・検討して参ります。
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	センターの入り口に各種マニュアルや対策を掲示しています。定期的に発生を想定した話し合いも行っていきます。
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	避難訓練は (訓練日に参加が可能な児童と共に) 定期的に行っています。	今後も緊急時にも職員や児童と「命を守る行動」を取れるように、定期的な訓練と防災学習を継続して参ります。
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	保護者様から丁寧にお聞き取りを行い、詳細な打ち合わせを行い、一覧表を作成して全職員に周知しています。	今後も常に児童の情報を更新し、継続して安全に配慮して参ります。
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	指示書がある利用児童については、保護者様と綿密に情報共有を行い、指示書の内容を周知し、一覧表を作成して全職員に周知、細心の対応を行っています。	今後も常に児童の情報を更新し、継続して安全に配慮して参ります。
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ヒヤリハットはファイルの夏祭り、今までの事例を閲覧・周知して再発防止に繋がっています。	今後も継続して記録を続け、事故防止に努めます。
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	事業所内で虐待防止責任者を選定し、また、最低でも年に 1 回は虐待防止に関する職員研修を行い、職員の資質の向上に努めています。	今後も継続して虐待防止研修を行い、更なる研鑽に努めます。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	利用契約書には、原則として身体拘束の禁止を記載しています。生命または身体を保護する為にはやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ説明し理解を得ることを怠りません。	今後も利用契約書に準じ、原則身体拘束は行わないように努め、万一、止むを得ず身体拘束に踏み切る場合には、保護者様や当該児童と話し合い、同意を得た上で支援計画にも記載し、慎重に行って参ります。

○この「事業所における自己評価結果 (公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。